

【滋賀県で初導入】全国12自治体の教員たちが受講した
子どもたちの“話す力”を育む教員研修
～8/9(水)長浜市教育センター主催・夏季研修の1講座を受託～



他自治体で実施した教員研修の様子

長浜市教育委員会は、一般社団法人アルバ・エデュ(東京都文京区、代表理事:竹内 明日香、以下「アルバ・エデュ」)が提供する子どもたちの「話す力」を育むための教員研修を、滋賀県で初導入することを決定しました。

長浜市教育センターでは、長浜の子どもの学ぶ力を高めるために、教職員の授業の質・教科指導力や専門分野の指導力の向上を目指して希望研修を企画しています。今回、長浜市教育センター主催夏季研修講座の一環として、小学校・中学校の教員に向けたオンライン研修をアルバ・エデュが担当します。子どもたちの可能性を引き出し、自己効力感が高まるような指導や評価ができることを目指します。アルバ・エデュは、長浜市教育委員会と共に新たな時代を自らの手で拓く子どもたちの育成に尽力してまいります。

<報道関係者向け教員研修のご案内>

■教員研修:オンライン(選択講座)

日時:8/9(水)10:00-11:30
対象:長浜市小学校・中学校の教員
◆研修アジェンダ 1 なぜ今話す力が大切か 2 世界の動向・日本の動向 3 プレゼンのコツ 4 先生方もミニプレゼン!

講師:一般社団法人アルバ・エデュ 蝦

※取材に関しては下記の問い合わせ先までご連絡ください。

<本件に関するお問い合わせ先>

一般社団法人アルバ・エデュ 広報担当 水間 aiko@alba-partners.com

<以下、参考資料>

アルバ・エデュが提供する「話す力」を育むプログラムについて

子どもの話す力を育てることを目的とした「アルバ・エデュ」が提供する教育プログラムです。2022年度の1年間だけで全国9自治体で導入され、これまで全国の小学校・中学校・高校で約5万2000人の児童生徒が受講しています(2023年5月時点)。

1. 教員研修のポイント

子どもたちを育成するためには、教員も「なぜ話す力が今の時代に必要か」「話す上で普段の授業と違う点はなにか」を理解することが必要です。教員研修では、教員が子どもたちのプレゼンづくりを指導する際に、どのような声掛けをするかを学びます。教員の掛ける言葉一つで、子どもたちの自己肯定感は上がり、「もっと話したい」という意欲につながります。普段の授業から活用できるポイントを紹介し、教員同士のワークなどを通じて実践的な教員研修を行います。

2. 児童・生徒向け授業のポイント

まずはじめに、自分の意見や思いを「考える」という、プレゼン作りの核となる部分について学びます。それから、子どもたちが自己肯定感や自己効力感を高め、自分を堂々と表現できるようになることを目的に、「考える」ことをもとにして、「どのような伝え方をしたら聞き手の心に響く話ができるようになるのか」「どんな資料の見せ方をすれば自分の伝えたいことが伝わりやすくなるのか」について学びます。



プレゼンテーションは難しいと思っていたけれど、この授業でプレゼンのコツや発音を良くする練習を教えてもらったので、これからはいかしていきたい。

プレゼンって凄く面白くて、ワクワクするなと思った。

今まで自分の苦手だったプレゼンが楽しくなった。これからも学んだことをしっかり使って、人に言いたいことを言えるようにしたい。

自分の考えを「深める」作業をすると、こんなにも生き生きと発表できるようになるのかと実感しました。

児童たちがもっと自分の考えで話し、自分の言葉を友達に伝えることができたなら、プレゼンが「恥ずかしくて苦手なもの」から「楽しくてワクワクするもの」にかわっていくと感じました。

授業だけでなく教員研修もセットである点が非常に魅力的で、いわゆるプレゼンスキルトとどまらないプログラムのため、子どもたちの自信につながる。

プログラムを受講した教員、児童・生徒、保護者の声

<本件に関するお問い合わせ先>

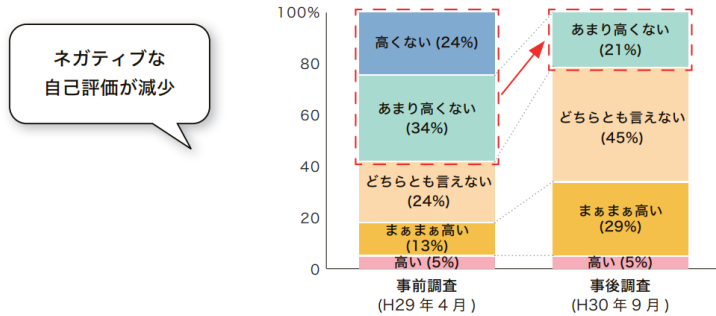
一般社団法人アルバ・エデュ 広報担当 水間 aiko@alba-partners.com

3. 教育効果について

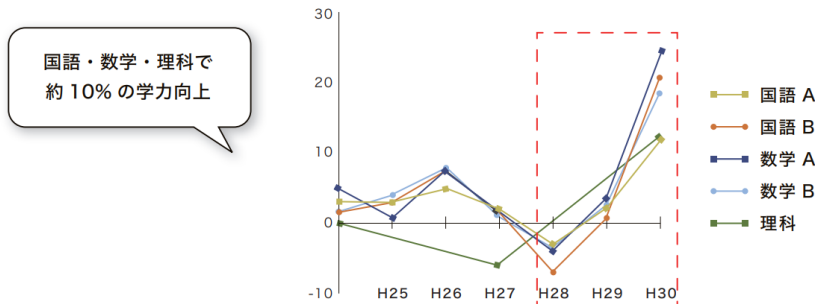
過去にプログラムを実施した研究指定校では、「プレゼンに対するネガティブな自己評価が減少」、さらに「国語・数学・理科で約10%の学力向上」という結果も出ています。

継続的にプログラムを導入した都立公立中学校の変化（文京区）

プレゼンに対する5段階自己評価



全国学力・学習状況調査の推移（全国平均を0としたときの本校の回答率との差）



2年間授業を実施した文京区中学校における、授業実施前後での変化を測定

※今回の結果については、アルバ・エデュが提供しているプログラム単体の導入効果だけでなく、日常の教育活動との相乗効果によるものです。

■一般社団法人アルバ・エデュについて

アルバ・エデュは、変化の激しい時代を生きる児童・生徒たちが、自己理解を深め自己効力感をもって未来を切り拓いていくために「話す力」を高める教育を全国に広げています。これまでに約5.2万人の子どもたちへの授業実績があります。（2023年5月時点）代表理事の竹内が、金融業界で海外投資家と日本企業をつなぐ仕事をする中で、「日本の優れた製品やサービスの良さが伝わっていない」という現実に何度も直面してきました。「話す力」は小さな成功体験を積み上げることによって高めることができるという信念のもと、教室内の心理的安全性をも高めるプログラムを提供しています。

所在地：東京都文京区音羽1-17-11 花和ビル308号

設立：2014年12月

代表理事：竹内 明日香

URL：<https://www.alba-edu.org/>

■代表理事：竹内 明日香について

東京大学法学部卒業。日本興業銀行（現みずほ銀行）を経て、2007年に独立し海外投資家向け情報発信や日系企業のプレゼン支援を提供して今日に至る。2014年、子どもの「話す力」の向上を目指す（社）アルバ・エデュを設立。教員研修や児童・生徒を対象としたモデル授業を展開。NRS株式会社社外取締役。一般社団法人未来の先生フォーラム理事。公立小元PTA会長。二男一女の母。2022年5月には書籍『すべての子どもに「話す力」を』を出版。

<http://www.eijipress.co.jp/book/book.php?epcode=2308>



<本件に関するお問い合わせ先>

一般社団法人アルバ・エデュ 広報担当 水間 aiko@alba-partners.com